CSRの和

～大川らしさをまごころこめて～

第12号
2011.9

神奈川の森の現状を知る

ジビエ料理とワインの会 開催

街を再発見！ 横浜ひとまち百景

明治時代に使用されていたマーク

Since1881

今年も気づけば後残り３ヶ月。月日が経つのは早いものだとつくづく感じます。今年の３月には東日本大震災が起き、多事多難な１年でした。しかし、日本だけでなく、世界中からの助け合い精神を感じることができた１年でもありました。今回の「CSRの和」は、このような中で新しくスタートした「シカプロジェクト」と「横浜ひとまち百景」の２つのプロジェクトを中心に構成してみました。楽しく読んでいただけたら幸いです。

株式会社 大川印刷

森へ行こう!

～神奈川の森の現状を知るジビエ料理とワインの会～が開催されました！

白井貴子さんによるミニライブ

営業部の斉藤さんから企画について説明

8月10日に、「森へ行こう！～神奈川の森の現状を知るジビエ料理とワインの会～」を、野毛HanaHanaで開催しました。このイベントは、野毛地区街づくり会、Hana＊Hana FESTIVAL実行委員会が主催する「Hana＊Hana FESTIVAL 2011幸せの架け橋」の一環として、有限会社ロッド、野毛Hana＊Hana FESTIVAL実行委員会と当社で企画・実施しました。

今、全国的にシカの大増殖が問題となっています。神奈川県丹沢周辺の山間地でも、シカの増殖により、年間約1000万円にのぼる農業被害や生態系の破壊が起こっています。そのため、年間約1500頭のシカが個体数調整のために殺され、埋めて処分されています。シカと人間が共存していくためには、適切に狩猟し、食肉として有効活用していくことが大切です。

当日は、株式会社クイージ代表の石﨑英治さんから、シカが増えてしまった理由や、山間ではどんな問題が起こっているのか、私達市民はどんなことができるのかレクチャーを聞いて、初代かながわ環境大使に就任した藤沢市出身・鎌倉市在住のシンガーソングライター白井貴子さんとのトークセッションを開催しました。

トークセッションの後には、シカの食肉活用の事例として、ジビエ料理を食べていただこうと、鎌倉の創作フレンチ「Terroir（テロワール）」さんによる「キッシュ」「ソーセージ」「鹿肉のロースト」などのジビエ料理を提供してもらい、ワインやビールと一緒に、参加者の方々に楽しんでいただきました。また、白井貴子さんによるこの夜限りのスペシャルライブもあり、シカ増殖の問題について「学んで、食べて、飲んで、考えて、聴いて」と五感を使って理解していただき、大変盛り上がりました。

当日は、行政、企業、NGOや地域住民の方々など、セクターを超えて多くの方にお越しいただきました。「シカの現状、とても興味深い内容だった」「石﨑さんの考え方や話が大変参考になった」「シカ肉がおいしかった」「翌年以降もこのイベントを続けてほしい」との声をいただき、参加者の方々にも大変楽しんでいただくことができました。

今後も、大川印刷は、継続してこの課題に対する取り組みを続けていきます。（斉藤）

石﨑さんと白井さんのトークセッション

シカ料理とワインを楽しむ参加者の方々

鹿ベーコンと
玉葱のキッシュ

鹿肉のロースト

見て楽しい、来て嬉しいウェルカムボード 8月の月間MVP受賞

来社されるお客様をお出迎えする気持ちを込めて、ウェルカムボードを本社と横浜営業所に設置しています。これは社内から発案されたもので、毎回イラストを描いている梶原さんと下野さんは月間ＭＶＰとして社内で表彰されました。更に、下野さんは日めくりカレンダーの修復も行い、小さなものにまで気を配り、物を大切にする心を持っている点で表彰されダブル受賞となりました。これからもお客様に気持ち良く過ごして頂ける環境づくりに取り組んでいきます。（矢萩）

営業所のボード（夏バージョン）

本社のボード（秋バージョン）

街を再発見！ 横浜 ひとみち 百景

京浜急行が走る横浜駅東口

私達は横浜マーチング委員会としてイラストを通じた横浜の街おこしに取り組んでいます。

マーチングとは街＋ingでマーチング。地域の誇りを楽しみながら探し、街自慢をすることで地域を良くして社会を良くしようという活動です。地域の方への感謝の気持ちを絵に込めて、地域の住民・商店・企業の地域活性化を支援するプラットフォームを目指します。既に全国では約20団体がマーチング活動を始めており、6月17日～6月24日に品川コニカミノルタ イメージングスクエアにて行われた全国のマーチング委員会の設立総会でもあるマーチングEXPO2011で、イラストを５点披露し横浜マーチング委員会の発足をいたしました。今後は私達と共にマーチング活動をしてくださる住民・商店・企業の方と展示会などのイベントや地域の方に喜んでもらえる商品の開発をしていきます。(荒井)

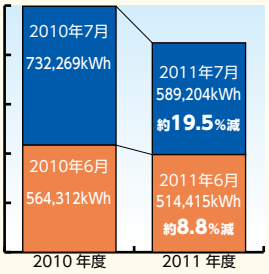
藤棚商店会入口

平沼交差点からランドマークを臨む

掃部山公園

節電の取り組みの報告

今年3月に起きた東日本大震災の影響による電力不足を受け、当社では国および全印工連の消費電力削減のためアクションプランに協力しています。電力削減の目標は25%、実施期間は6月16日から9月30日まで。具体的に蛍光灯の間引き、使用していない機器の電源OFFの徹底、営業所では毎週水曜日19：00帰宅、昼休みを電力ピーク時の13：30～14：30にずらし、その時間内は消灯。本社では工場の機械の時間をずらし、停止して行く輪番制を採用しています。小さな取り組みですが、少しでも被災地の一日でも早い復興に役立っていられたらいいなと思います。(パク)



電気使用量の前年対比

高校生インターンシップ～大人へのステップ～

8月17～23日の5日間、神奈川県立神奈川工業高等学校２年生の生徒４人が当社でインターンシップを行いました。インターンシップを通して「会社・仕事の大変さや責任感・連帯感の大切さ」を学んだという声や「１人では何にも出来ないこと、みんなの力が本当に必要なこと」を改めて感じたという声を頂きました。高校生の受け入れは今回が初めての取り組みでしたが、仕事へ謙虚に臨む姿は私達にとっても気付きの場にもなり、互いに学びの多いものになったのではないでしょうか。将来はデザイン関係の仕事に就職できるように頑張っていきたいという彼女たちの夢をこれからも応援していきたいと思います。(矢萩)

左から平井さん、平田さん、鶴田さん、寺島さん

横浜中法人会主催「山下公園清掃活動」

神奈川新聞花火大会の翌日である8月18日（木）早朝、横浜中法人会主催で、山下公園清掃活動が行われました。当社からは大川社長をはじめ10名が参加しました。今年の花火大会では、初めて臨港パーク、新港パークが有料化され、ブルーシートの持込が禁止されました。また、これまでも行われていたごみ袋の配布が徹底され、毎年配られたウチワは必要な分だけ自分で持っていくようにしました。対策効果があってか、今年はごみがだいぶ減ったという意見が多く寄せられました。このような取り組みがこれからも続けられて、参加者だけでなくすべての人が幸せになれる花火大会になったらいいと思います。
私は山下公園清掃活動に参加するのは初めてでしたが、市民の社会責任や環境について考えることができ、とても貴重な時間になったと思います。ご参加いただいた皆さん、暑い中大変お疲れ様でした。（パク）

500円でつなげよう NIPPON プロジェクトスタート

「500円プロジェクト」とは仕事を1件受注するごとに、500円を復興支援に関わる費用に充てさせていただくプロジェクトです。普通の経済活動が復興支援につながり、それが日本の経済活動の活性化につながればと思い発案しました。支援費用の額ではなく、長く続け、の活動を紹介することで、いろいろなつながりができることを望んでいます。月1回、支援費用を集計し復興支援を行っている団体など、支援先を月ごとに変更していくのもそのためです。第1回目は、被災地で移動図書館を実行している「シャンティ国際会ボランティア会」様（URL. http://sva.or.jp/）になります。第1回目は、21件の受注で10,500円の支援費用になりました。（北島）

URL: http://www.ohkawa-inc.co.jp/500yen/index_500yen.htm

大川印刷と社長の名前がウォールストリート ジャーナルに掲載！

「CSRの和」第11号に掲載した、社長が4月被災地のいわき市に訪れた際、居酒屋で撮影した写真ですが、Twitterにつぶやくと、多くの人が関心をよせ約120,000回写真にアクセスされました。更にこの内容が、なんとウォールストリート ジャーナルに掲載されました。記事は下記のURLからご覧ください。（パク）
ウォールストリート ジャーナル記事のページ
http://on.wsj.com/mdvzWJ

THE WALL STREET JOURNAL.
Bar Discount: Save More With a Mag Four Quake

"It seems we're already at level 7," says a sign outside the yakitori-specialty eatery Yokuraku, photographed by Twitter user Tetsuo Ohkawa, head of Ohkawa Printing company. In bubbly font, the sign goes on to say the level only leaves the pub with the option to forge ahead.

編集後記

皆さん、はじめまして。パク チョロンです。大学の授業に社長が講師に来たことで、大川印刷のことを知り、インターンをすることになりました。8月から10月までの2ヶ月の間、大川印刷でとても楽しいインターン生活を過ごさせていただきました。今回の「CSRの和」が発行している頃には私は大学に戻っていると思いますが、大川印刷で学んだことは今後のキャリアにつなげて行きたいと思います。この2ヶ月間、社長をはじめ社員の方、取引先の方々、大変ありがとうございました。

パク チョロン

矢萩（やはぎ） 祥恵（さかえ）

はじめまして。矢萩祥恵（やはぎさかえ）です。人とものをつないで新しい動きを起こしたい！と思い8月から半年間のインターンを始めました。横浜ひとまち百景を中心に、活動していきますので、是非今後ともプロジェクトに注目して下さい。よろしくお願いします。

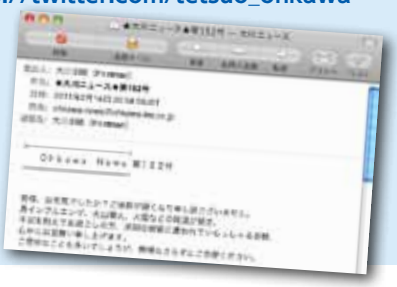
ツイッター、Facebookでリアルコミニュケーションを展開中！

Follow me

リアルタイムで大川印刷や横浜の情報が受け取れます！
大川印刷ツイッター：http://twitter.com/OhkawaPrinting　大川社長ツイッター：http://twitter.com/tetsuo_ohkawa
大川印刷Facebookページ：http://www.facebook.com/OhkawaPrinting

大川ニュース好評配信中！

当社ではメールマガジン「大川ニュース」も配信しています。当社の活動や、社員の選んだ気になる情報・イベント・セミナーなどのニュースをお届けしています。
大川ニュースの配信をご希望される方は「mail@ohkawa-inc.co.jp」までお願いします。



編集　大川印刷　CSR推進委員会
発行人　大川哲郎
発行元　株式会社大川印刷
イラスト　m-pochi

CSRの和へのご意見・ご感想は…
csr-wa@ohkawa-inc.co.jp まで
※メールアドレスを開設いたしました。
2011.09.1000

◆本社・工場
〒245-0053横浜市戸塚区上矢部町2053番地
TEL：045-812-1131（代）FAX：045-812-1135
◆横浜営業所
〒220-0011横浜市西区高島2-14-12
ヨコハマジャスト2号館3F
TEL：045-441-2011（代）FAX：045-441-2014
URL：http://www.ohkawa-inc.co.jp

環境に配慮して、FSC™森林認証紙にノンVOCインキ（石油系溶剤0%）で印刷しています。
メディアのユニバーサルデザインを推進するNPO法人メディア・ユニバーサル・デザイン協会が「より多くの方が使いやすく見やすいメディア」であると認めた製品です。
MUD P10105　VOC FREE™　FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C009309